

みんなに伝えたい!

講演会の報告

知りたがりとおせっかいが 地域と地球を救う



2024.11.15

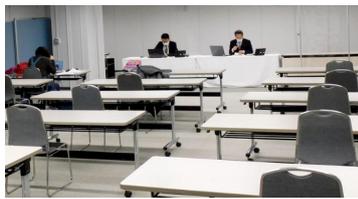
おしどりマコ・ケン講演会

武蔵境・スイングホール

私はおしどりマコ・ケンの大ファンで、彼らの講演会に年に一度は参加することで、最新の福島第一原発事故の現状（原発そのものも、周りで生きる人たちのことも、被災者のことも）を知るようになっています。

2011年の福島第一原発事故を機にフリージャーナリストになったマコさんは、東電記者会見の出席回数がまもなく1000回になり、今や東電広報がマコさんに情報確認をしてくるというのだから驚きです。

東電の会見者は13年間で20人近く代わっているのです。メディアの記者も2011年から数年は東電会見に足を運んでいたものの、最近の会見場はこんな感じ。→



マコさんは東電会見だけでなく、省庁はもち

ろん、廃炉作業現場の作業員さん、福島に留まって農漁業を営む方たち、福島を離れた被災者などへの緻密な取材をずっと続けていて、膨大な一次情報を蓄積しています。

おしどりマコ・ケンの講演会は情報量がめちゃくちゃ多い! 吉本の芸人さんでもあるマコさんなので、笑いを取りながらの早口トーク（でも活舌がいいので聞き取りやすい）。そのマシンガントーク

に沿って、合の手を入れてつつ絶妙のタイミングでスクリーンに資料や動画を映したすケンさんの手腕。2時間でも4時間分くらいの情報量なので、今回の講演会でも一番印象に残った話を、私の昔話とからめて報告したいと思います。

チェルノブイリ事故の数年後のこと。すっかり脱原発派になった私が、スキー場のペンションで鹿島建設の若手社員と原発のことを話す機会がありました。「原発事故が起こったら取り返しがつかないことになる」と言った私に、彼は「事故が起こったところで周辺の5万人くらいが住めなくなるくらいの事ですよ」と。言葉を失い、大手ゼネコンの考えとはこんなものなのか、特に鹿島は許せん!とたった一人の若手社員の言葉に捕らわれてずっと怒り続けていました。

こんな昔話をするのは、今回の講演会でこの思い込みを反省したからです。

マコ・ケンさんはいつも、講演会で「自分好みの情報や少しの情報を信じ込んでしまい、思考停止しないで」と訴えますが、私はまさにそれでした。

みなさんは「あらかぶさん裁判」を知っていますか? この裁判は、ずさんな安全管理で白血病を発症した原発労働者が東電を訴えた裁判です。

北九州市出身のあらかぶさん(ニックネーム)は2012年10月から、3人の子どもを抱える

家族を残して事故後の福島第一原発で働き、14年1月に白血病を発症。死への恐怖からうつ病にもなりました。

15年10月、ふくいちの労働者として初めての労災認定が下りたので、当時はマスコミでも少し話題になりました。

けれども、東電が因果関係を認めず「これでは使い捨てだ。裁判などしたくなかったけれど、他の労働者のためにも泣き寝入りできない」と、あらかぶさんは2016年11月に裁判提訴しました。

マコさんがあらかぶさん取材して聞いた話で、強く印象に残ったのは、鹿島建設との関わりの話です。

あらかぶさんは福島第一原発の廃炉作業で、鹿島建設と竹中建設のというふたつの大手建設会社の下で働きました。そして、最初に働いた竹中があまりにずさんな安全管理で驚いたそう。

鉛ベストが足りなければ「着らんでもこっそり入れ」と。ベストは作業後こちらの木にひっかけて帰った。APD（電子式線量計）が警告音を発したら解除させる。そんな現場で、あらかぶさんは被爆したと思われます。

その後、鹿島の現場に入ると、ベストには倉庫に入っていて番号がついて除染されているか厳しく管理され、APDも守られていたそう。



2013年4月、福島第一原発4号機で、鉛ベストなしで作業するあらかぶさん

福島第一原発の仕事一度辞めて北九州に帰ったあらかぶさん。また仕事をしないかと電話してきた鹿島の人に「白血病で死にそうになってる」と告げると、すぐにやってきて「最終事業者はうちだから」と、治療で苦しむあらかぶさんを励まし寄り添いながら、労災認定がおりるように奔走してくれたといいます。

富岡労働基準監督署の担当者も「これだけ動いてくれる元請けは見たことがない」と感動したそうです。

私の思考停止がやっと解けました。鹿島さん、ずっと怒っていてすみませんでした…最新情報を取りに行く、アップデートを怠らない。ほんとに大事ですね。

鹿島建設の株は上がりましたが、やはり原発はNO!です。「原子力は事故を起こさなくても人を踏みにじるエネルギー、原発事故で一番被ばくする市民は原発作業員の方々」とマコさんは講演を締めくくりました。廃炉作業が進むほど増える作業員の被ばくを抑えることに全力を尽くしてほしいものです。

ごみかん運営委員 井上真紀子